



日本共産党区議会議員

こんにちは
伊藤和彦です

自宅 足立区花畑6-20-1 電話3859-6952
足立区役所 電話3880-5111 (内線4650~4654)
日本共産党区議団 直通3880-5770
<http://www5.family.ne.jp/~k-itou/index.html>

公衆トイレを洋式に改善を求める陳情



公園トイレの洋式はわずか17% 区はPJつくり検討を約束

6月21日、
区議会・建設委
員会は「公園などの公衆トイレの和式ト
イレを洋式トイレに改善を求める陳情」
を審議しました。

陳情者は「和式トイレを洋式トイレに改善を求める会」から提出され383名の署名も寄せられ「公園内のトイレも和式ではなく洋式トイレになつたらいいな」と、「多くの高齢者の方々が散歩に出て、途中で園内トイレに入ろうとしても、和式トイレのため足の膝が痛く腰を下ろすことができません、ほとんど使えない」と嘆

建設委員会へ審議、共産党は採択を主張
自民、公明、無党派は継続



公園の公衆トイレは和式のものが多数

「計画的に公園内の公衆トイレを和式トイレから洋式トイレに改善してくださいませよう特段のお力を尽くして」と言っています。陳情事項は、2つにはトイレ内にカバンなど置く荷物場をつくらせてください。3つには清掃のとき水はけをよくして水溜りができないよう改善を求めるものです。区は、公園、児童遊園、公衆便所(駅前など)合計331カ所、便器総数は570個、そのうち、洋式便器は97カ所、洋式トイレはわずか17%と報告がありました。区は「だれでもトイレ(障害者などが利用する)を設置することを原則としている」と答弁し、質疑のなかで、「だれでもトイレ」の費用は1カ所、1000万円かかると言いました。与党からは「りっぱ過ぎて宿泊するんですかと、区民から言われた」。水はけについては「指導で改善できるはず」と指摘され、区は約束しました。私(伊藤和彦)からは、区の説明報告では洋式トイレにできない理由に、「洋式便器を嫌う利用者のいること、改善に多額な費用がかかる、いたずらが多くなるの3つを問題にしている

「増税談合許せない! 3党合意なんて認めない! がんばって欲しい」
区民の声

ことを批判して、「陳情者の言っているのは立派な、だれでもトイレを作ってくれなどと言っていない。簡易なポータブル式のもの、値段にすれば一個、1万円もかからないものを求めていること、荷物置き場を扉のフックで兼ねるようなものではなく置く棚を求めていること、水はけについては「足の不自由な人が滑って転んだ」という陳情者の声も紹介し、指導改善はすぐできるものであり、急ぐことを求めました。区の担当者・みどりと公園推進・班目室長は「プロジェクトチームをつくらせて検討する。できるものはやりたい」と答弁しました。陳情の態度は、日本共産党は「区民の当然の願いであり採択を主張。しかし自民、公明、無党派は「継続」を主張し結果は、多数で「継続審査」となりました。区民の願い実現でがんばります。ご意見、ご要望をお寄せ下さい。(区議会議員・伊藤和彦)

「民主党は消費税は4年間は上げない」と言っていたのに、自民、公明党3党で密室で決めるなんて、とんでもない! 収入が減り負担が重くなる。大飯原発再稼働もおかしい! あそこの知事は裏でお金をもらったのではないか。放射能は何十年、何百年も消えないという、危険なものだ。子どもたちのことを考えて欲しい。原発再稼働はやめて欲しい。もう野田さんもやめて欲しい。(50代の男性から竹ノ塚駅東口にて)

区議団の区民アンケートにご協力を

日本共産党区議団は、議会質問に活かすため第12回区民アンケートを行っています。みなさんの要望、声をお寄せ下さい。すでに約1週間で316通の回答が寄せられています。暫定的な集計では、この1年で生活が苦しくなったと答えた人は74%、電気料金値上げ反対は84%、原発再稼働に反対は56%、消費税増税に反対は50%、どちらかと言えば反対は22%などと答えています。区民からの声は「医療費が高い。年金から介護保険料と税金を引かないで欲しい」「3年後に定年になる、ローンの返済で相談したい」

共産党に対しては、「がんばってください」「頼りにしています」「熱心に取り組んでいると思う」などの声も寄せられています。アンケートにご協力をお願いします。

UR花畑団地の「再生」事業 区は居住者の願いをURに伝えよ



UR花畑団地の「再生」事業で解体される号棟

交通網・都市整備調査特別委員会は6月22日に開かれました。
区から「UR花畑団地周辺まちづくりの進捗状況」が報告され質疑しました。自民党委員からは「花畑団地は反対が多い」から事業が進まないかのように発言し、「エレベーターもつかない」と発言。また西新井の開発のように「URにだまされないように」などと質疑がありました。
私は久しぶりの交通・都市基盤委員になって委員会で改めて、花畑団地の実態を明らかにしました。
長い間建て替え対象団地とされ、花畑団地は新規募集もないうまま、約1000戸の空

き家が生まれ放置されていたこと。突然、URが「複合型再生団地」に指定変更となり居住者に混乱を生じたこと。自治会や住民運動で5カ所のエレベーターが設置されていること。27号棟には5階まで、各階とまるエレベーターが作られたこと。東集会所の立て替えが区の審査の遅れで着手できないこと。給水塔が解体され、79号棟、80号棟の居住者から「水の出が悪くなった」こと。A、B街区の解体工事が進められようとして、すでに1157戸を壊し、現在の戸数は1568戸。
約5万平方メートルの売却予定地・団地西側に居住者などから「特養老人ホーム、シニアセンター、病院、医療機関の建設、子ども施設など要望」があがっていることなど明らかにしました。
2008年、団地居住者への事業概要の説明では「独立行政法人として経営の健全性を確保する」と売却しようとしていること。区はURとよく協議し、居住者の要望に添えるよう質疑し、区は「URと協議していく」と答弁しました。
ご意見、ご要望をおよせください。(伊藤和彦)

質問にお答えします



Q、いま日本の政治の閉塞状況について橋本徹・大阪市長を「時代の寵児」扱いするマスコミ報道をどう思いますか。また橋本市長のいう「改革」とはどんなものですか。(保木間・Sさん)

A、マスコミ報道による橋本「維新の会」への報道は過熱し異常です。これは「2大政党」「政権交代」の破綻する政治の閉塞状況とともに情勢の「反動的・ファッショ的打開」という企てから危険性を持っていると考えます。橋本「維新の会」が「これまでやってきたこと」「これからよろうとしていること」を検証してみると、この勢力の進める政治の中身「改革」が、古い自民党政治の反動的強化にほかならないことが鮮明です。大阪で推進してきたものに、その手法・論理にはいくつか特徴があります。財源を社会保障に使うことを「ぜいたく」と言って、市長とそのブレイク集団が決めた「削減計画」を強権的に現場と住民に押し付けることです。トップダウンによる強権的な改悪のやり方が財界など日本の支配層に受けているものです。

2つ目の特徴は、社会的弱者への「バッシング」と住民の「分断」です。橋本氏は「タレント弁護士」時代に「税金を払わない奴は生きていく資格がない」と発言し、およそ弁護士とは思えない人権意識の欠落している人物と言えるでしょう。3つ目は黒字や利益の出る事業を「官」が行うのは「けしからん」とし、公的事業や公有地、公的施設などを民間企業に明け渡す、民営化、民間開放の推進者であることがよくわかります。情勢の反動的打開をねらった政治策動と正面からたたかう日本共産党の主張と活動が自由と民主主義の守り手として、いまこそ真価を発揮するべき時と考えます。(伊藤和彦)

竹ノ塚駅立体化事業 都に負担の増額を求めるべき

交通網・都市整備調査特別委員会は「竹ノ塚駅付近鉄道高架化の取り組み状況について」報告があり、質疑しました。
竹ノ塚駅立体化事業は、事業認可後のスケジューリングで今秋、工事着手へと準備が進み、東武鉄道との施行協定で用地取得、建物補償交渉が4月に行われたことの報告です。
総事業費は537億円。私は、区の負担を軽減するように都に求めるべきだと

発言しました。最近、墨田区では、スカイツリーとの関連で都市計画事業を単独で実施することでその関連で23区の中で鉄道立体化事業など都市計画の負担割合を以前の都が7割、区が3割にすべきことが検討されていること。区は財源確保に向け協議すべきと質しました。区は「環境が整ったら協議したい」と答弁。都と交渉し実現すれば足立区は45億円軽減できるものです。

新婦人50周年のあゆみDVDを

見るつどい 新婦人・みつばち班
7月1日(日)午後1時半より
だれでも参加できます。無料です。放射能内部被曝から子どもを守るために、お茶とお菓子でおしゃべり会です。場所 花畑6-20-1 伊藤宅・談話室「遊学舎」 連絡先電話 3859-6952